

バンクーバー航海体験記

〔ナビゲーション講習〕 4日間

横浜ベイサイドマリナー

2015年 6/20(土)・21(日)・7/11(土)・12(日)

〔カナダ実践〕 6日間

バンクーバー・ガルフアイランド

2015年 7/25(土)~31(金)

『ISPA パワーボートスクール』は2014年度に開校して以来、約40名の修了者を送り出し、ボートクルージングを「安全に楽しむ」方々がYBMに増えてきております。

さらに2015年度から「コスタルコース (Step3・コスタルナビゲーション、Step4・コスタルスキッパー)」を開設し、今回は記念すべき第1回実施ということで、インストラクターの私、佐藤裕太が参加してきました。6日間の海外講習の様をお伝えします。

人生初の海外で
ずっとドキドキ
でした！



ISPA パワーボートスクール
インストラクター 佐藤 裕太



参加者はコンピテントクルー、デイスキッパー修了者4名。
左から秋本さん (14年9月修了)、荒井さん (14年5月修了)、
福島さん (14年6月修了)、若林さん (14年10月修了)、
現地インストラクターのポブ・センドー氏、そして私 (佐藤) です。

ナビゲーション講習 (YBMにて)

※カナダ実践に行く前に4日間、座学にてナビゲーションに必要な基礎を学びます。前半の2日間は、「ベアリング」「チャートワーク」などを学び、後半の2日間で、パッセージプランを作成しました。到着は必ずしもハーバーにドッキングするわけではなく、アンカリングをして夜を



過ごす日もあるので、到着した時と朝の出港するときのタイド (潮汐) も計算します。また、ボートで6日間を過ごすので、1日1日の艇長、ナビゲーター、食当、食当サブを予め参加者で決めました。

この講習は、実際にカナダのチャートを使用して航行計画を立て、その立案した計画に添って実践していくので、ナビゲーション能力に自信と実力がつく内容となっています。

カナダ実践



【チャーターボート DATA】

艇種：シルバートン34

エンジン：ヤンマー 315馬力 ×2基

燃費：40L/時間

※4日間の座学を終えて、いざ初めての海外へ！気候は日本の高い湿度とは正反対で、湿度がかなり低いので夏場なのにとっても清々しかったです。もちろん日本語が通じない国なのでドキドキが止まらないまま参加者と合流、実践の前夜は参加者と現地インストラクターのポブ氏と夕食をとりました。

DAY 1 7月26日 (日)

「バンクーバー」 →
「ポートランドアイランド」 51マイル

天気：雨→曇り 気温：18.5°C 風速：SW 1.0 kt

※09:00 出港準備…初めての別世界でのクルージングとなるので、プラン作成とウェザーチェックを入念に行ないます。



※10:30 ドックアウト→出港…ヘルムは私からスタート。異国の地での操船はドキドキとプレッシャーで鳥肌が立つくらい気持ちが高ぶりました。ハーバーに係留しているカナダのオーナー達は生活同然で船に乗っていました。 ※13:55 ポーリエバス通過…潮の速さと満ち引きで最も難所といわれるポーリエバスを通過します。パワーボートでも、潮に流されて座礁事故などが起きるケースがたくさんあるとのことなのでスラックタイムをあらかじめ調べて、その時間に合わせて通過して行きます。若林さんのナイスなナビゲーションでスムーズに航行していきます。 ※15:15 ポートランドアイランド到着…アンカリングをします。周りにも普通感覚でアンカリングをしているヨットやボートもちらほら。さすがクルージングの本場カナダ、他船のアンカリング風景も勉強になります。 ※15:30 ポートランドアイランド上陸…テンダーで上陸して島を半周散策しました。島は日本の山の気候に似ていて草木もよく見るものばかりです。



ディナーは福島さんの「豚の生姜焼き定食」。夜は双眼鏡を片手に天体観測。星を1つ見つけて双眼鏡を覗いてみると、その星の周りには満天の星々が広がっていました。



ポートランドアイランドの自然

DAY 2 7月27日 (月)

「ポートランドアイランド」 →
「ヴィクトリア」 27マイル

天気：晴れ 気温：16.5°C→21.0°C 風速：SW 4.0 kt → SW 20.0 kt

※07:00 朝食、出港準備…チャートを見て航行中にポイントとなる所を事前にチェックしていきます。今日は午後から風が強くなる予報だったので、下げ潮の状態ですが早めにヴィクトリアに着くプランを立てました。 ※09:30 アンカリング上げ→出港…視界良好の中をナビゲーション通りに進んでいきます。次の目標物、そしてまた次の目標物と順々にチャートとしっかりと照らし合わせながら船を走らせます。 ※10:45 ベインズチャンネル通過…パワーボートでも潮で流されてしまったらハンドリング操作が難しくなります。ベインズチャンネルは日本では見たことのない激しい潮目でした。しっかりとリードマーク上にボートが乗るように、繰り返しナビゲーションはヘルムに目標物を指示して、尚且つベアリング通りにボートを走らせなければなりません。所々でアザランが顔を出していました。 ※11:30 ヴィクトリア入港 → ドッキング…ヴィクトリアに入港すると、水上飛行機が離発着していました。港に近づくにつれて、7kt → 5ktと段階的に速度制限があるのでスピードダウンして進んでいきます。港にはホエールウォッチボートや水上タクシー、プレジャーなどで賑わっていました。夕食はヴィクトリアの町にあるレストランでステーキです。



ヴィクトリア



オルカと遭遇



パイレーツコープ入港

DAY 3 7月28日(火)

「ヴィクトリア」 → 「ガンジスハーバー」 41 ㊦

天気：晴れ 気温：22.0℃→25.0℃ 風速：SW 1.0kt→SW 8.0kt

★07:30 朝食、出港準備…ビジターパスでのドッキングは、リカバリーがすぐできるように昨日はスターンからドッキングしました。ドックの一番奥にドッキングしていたので、船同士の狭い間を自分達の方で慎重に抜けてドックアウトしていきます。ヴィクトリアの朝は湿度が低くさわやかでした。

★09:15 給油…給油は自分達で行います。さらにマリナーの給油所と違い、ノズルにストッパーがありません。給油の仕方は、燃料の溜まる音を聞いてストップすることと、毎日出港するたびに燃費計算をしています。今回のシルバートン 34 は燃費が 40ℓ/時間で、DAY2 までの燃料は計算上 240ℓ(片舷 120ℓ) 入れます。★09:30 ガンジスハーバーに向けて出港…航行中ありとあらゆる地形をチャートで見て確認していきます。カーディナルブイは色でまず覚えておくのですが、カナダのブイは鳥のフンで白くなっているのので、チャートをしっかり見て確認していきます。★10:40 オルカと遭遇…航行途中でオルカと遭遇し、みんなでオルカが通り過ぎるまでカメラのシャッターを押し続けました。

★12:30 ガンジスハーバー到着…ここでも水上飛行機の離発着やプレジャーで賑わっていました。ハーバーに入る手前では、何隻ものプレジャーがアンカリングをしている風景が広がっていました。日本では見たことのない風景です。また他の船を見てみると、ほとんどの船が老夫婦2人で操船していたので驚きました。



ガンジスハーバー



DAY 4 7月29日(水)

「ガンジスハーバー」 → 「パイレーツコープ」 25 ㊦

天気：晴れ 気温：19.0℃→24.0℃ 風速：SW 1.0kt→4.0kt

★07:30 朝食、出港準備、給水、ナビゲーションの確認…今日のクルージングは多くのラテラルシステムに従って航行するので、再度デイベィコン、パイファケーションの意味



アンカーの練習

を確認します。★09:15 プレストアンカーの実践練習…プレストアンカーの手順をおさらいしてから、実際に空いている棧橋で実践練習を行いました。アザラシも顔を出して応援してくれていました。★09:45 ガンジスハーバー出港…ヘルム以外の全クルーは F I X をとりながら航行していきます。ブイシステムは日本で見慣れている形と全く違いますし、鳥のフンで色が白くなっているものもあったので、とても分かりづらかったです。常にチャートと地形を照らし合わせたナビゲーションが必要であると感じました。



日本では見ないブイ

★11:35 カルムベイでダブルアンカーの練習…パイレーツコープに入港する前にカルムベイでバミアンアンカーの練習をしました。アンカリング完了後はランチを取りました。★15:00 パイレーツコープに到着…パイレーツコープに入港するときには、ラテラルシステムの狭い間を通過します。入港後は、アンカリングとスターンからロープを出して岸壁のチェーンにターンさせてボートを固定させました。パイレーツコープに上陸して自然の中を散歩しました。この場所は海賊が潜伏していた場所でも有名なので、海賊ロマン好きな私は心が躍りました。

DAY 5 7月30日(木)

「パイレーツコープ」 → 「ニューキャッスルアイランド」 13 ㊦

天気：晴れ 気温：19.0℃→25.0℃ 風速：SW 1.0kt→NE 12.0kt

→NE 4.0kt ★07:30 朝食、出港準備、ナビゲーションの確認…DAY 1 以外ずっと快晴が続いて、とてもすがすがしいです。ボートでご飯を作って食べるという生活を初めて体験して5日経ちますが、本当に素晴らしい体験をしているのだなとしみじみ思います。★08:45 パイレーツコープ出港…パイレーツコープに入港するときに見たデイベィコンが、出港するときには陸が見えるまで潮が引いていました。波は昨日に引き続きおだやかな状態です。



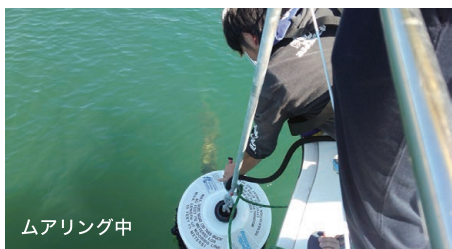
パイレーツコープの朝



ニューキャッスルアイランド風景



★09:53 ドットナロウ通過…ドットナロウは潮の流れが激しく、スラックタイム（潮止まり）のときにしか航行することができません。他の船もスラックタイムに合わせて通過するので、見通し約 30 隻の船が列を作って航行していました。★12:20 ニューキャッスルアイランド到着…ナナイモにドッキングして明日の朝食の材料を買い出ししてからニューキャッスルアイランドのムアリングブイに向かいます。ムアリングを一度やってみましたが、ブイが動いてあぶななかったので、この日はパブリックドックにドッキングしました。ランチの後は上陸して自然の恵みを感じながら散策をしました。ここには野生のアライグマが出現します。



ムアリング中



6日間を終えて

初の海外でしかも外国の海でのクルージングはかなり感動しました。この体験記もコストルコースの写真を見ながら書きましたが、一枚一枚写真を確認していただくだけで行った思い出に深く浸ってしまい「最高だったな〜」と思わず天井を見上げて、記事を書く手が何回か止まりました。

海外でも国内でもボート遊びをするなら、ISPA パワーボートスクールで「ボートの遊び方」を学んでおくと、どこでボートに乗っても楽しくなるのだなど実感できました。

これからボートを始める方も、今までボートで遊んできたベテランの方も、このスクールを受講すれば、必ずボート遊びの楽しさが発見できます！まずは「ベーシックコース（4日間）」で、皆様のご参加をお待ちしております。

ISPA パワーボートスクール
インストラクター 佐藤 裕太

DAY 6 7月31日（金）

「ニューキャッスルアイランド」 → 「バンクーバー」 34 頁

天気：晴れ 気温：21.0℃→29.0℃ 風速：NW10.0kt →NW20.0kt ★07:00 朝食、出港準備、ナビゲーションの確認…最終日の6日目です。いつの間にか参加者全員が船での生活に居心地が良くなっていました。また昨夜ピーナッツを入れていた箱をデッキに置いていたので、アライグマに荒らされていました…。★08:00 ニューキャッスルアイランド出港…ジョージア海峡は特に外海からの風が吹き込むと潮の流れが追加するので、海面が荒れていました。その中を航行していきますが、スターボードエンジンの回転が上がりなくなってしまい、スピードを 10 knot に落として航行します。★11:00 ボーンアイランド到着…スターボードエンジンの点検をします。燃料フィルターの詰まりが原因でした。最終日なのでこのままバンクーバーまで行くことにしました。★15:30 バンクーバー到着、給油、ドックイン、片付け、掃除…最後は初日に係留してあったところにドッキングして返却します。ドッキングを終えると周りで見えていたギャラリーからお出迎えと熱い拍手をいただきました。歓喜が上がる中で、6日間のコストルコースを締めくくりました。参加者全員、クルージングの本場カナダの海を満喫しました。

